

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2006-200427(P2006-200427A)

【公開日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【年通号数】公開・登録公報2006-030

【出願番号】特願2005-12314(P2005-12314)

【国際特許分類】

F 04 D 13/02 (2006.01)

F 04 D 29/58 (2006.01)

【F I】

F 04 D 13/02 E

F 04 D 29/58 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月4日(2008.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ステーターコアに複数のコイルを巻いたステーターおよび軸に支えられマグネットを用いたローターを有したモーターと、モーターのコイル通電を制御する制御回路とを備え、ローターと一体成形した羽根車、前記羽根車を収容しポンプ室を形成するためのケーシングを備え、ポンプ室とステーターを仕切っている仕切板によるポンプであって、前記ステーター、制御回路および仕切板をインサートして樹脂モールドしたことを特徴とするポンプ。

【請求項2】

仕切板は、ステンレスの金属であることを特徴とする請求項1に記載のポンプ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また本発明の仕切板をステンレスで作ることにより、上記のPPS樹脂でつくるより、仕切板の熱伝導が良くなり、コイルおよび制御回路の発熱部品をさらに冷却できる。